

❖ 日英語の「所有」に対する考え方の違い

英語と日本語にはさまざまな相違点がありますが、その中の一つに「所有」に対する考え方の違いがあります。これは、非常に重要な相違点でありながら、おそらく、みなさんが今まで、ほとんど意識してこなかったもので、やはり英語の習得を困難にしている要素の一つと言えるでしょう。

この相違は、「所有」という概念によってカバーされる意味の範囲が、英語のほうが日本語よりはるかに広いことによります。「所有」といえば、まず、みなさんの頭に浮かぶ英語は **have** でしょう。この章では、所有に関わる表現で用いられる **have** を中心に、日英の所有に対する考え方の違いを論じていきたいと思えます。

まず、以下の例を見てください。

I have a pen (in my hand).

私はペンを(手に)持っている。

I have a pen (but I cannot find it).

私はペンをもっている(のだが、今は見つからない)。

I have two hundred hectares of land.

私には200ヘクタールの土地がある。

私は200ヘクタールの土地をもっている。

Mars has two moons.

火星には2つの衛星がある。[一般的な表現]

火星は2つの衛星をもっている。[専門的な表現：翻訳調]

I have a wife.

私には妻がいる。

I have my suspicions about him.

私は彼に疑念を抱いている。

This food has a nice smell.

この食べ物はよいにおいがする。

I have a short temper.

私は短気だ。

I have green eyes.

私の目は緑色だ。

I have my mother's eyes.

私は母に似た目をしている。

I have a headache.

私は頭痛がする。

上の例文により、**have** がもつ意味のいくつかが明らかになります。もし、みなさんが英語のネイティブスピーカーに、上の例文で **have** の意味は何かとたずねたら、その人はおそらく、**have** は「所有」を意味すると答えるでしょう。

“**I have a pen (in my hand).**” と “**I have a pen (but I do not know where it is).**” は、2つとも明らかに所有を意味するケースです。また、“**I have green eyes.**” も、所有の一つの形式であると納得していただけるでしょう。どう見ても、目は自分のものであり、それが緑色なのですから。

また、“**I have my mother's eyes.**” も、“**I have eyes which are the same colour/shape, etc., as my mother's.**” ということですから、比喩的な意味ではありますが、やはり所有の一種です。

英語のネイティブスピーカーである私にとって、“**I have a**